

4. 自然 共生・多様性 プログラム ⑳

屋
外
+
室
内

自然をつなぐネットワーク「ビオトープ」を作ろう

ねらい

身近な自然を観察し、私たちの暮らしに地域の自然を取り入れる「ビオトープ」を作ること
で、自然の連続性に気づき、地域の自然をつなぐネットワークの役割について考える。

問いかけの例

私たちの身近な自然で暮らす生きものについて考える問いかけを行う。

- あなたの暮らす地域には、どのような生きものが暮らしていますか？
- あなたの周りでは、どのような自然が失われたと感じていますか？

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問いかけ」を行う。 ・安全や環境への配慮について説明する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③を用いて観察を行う。 ・観察した生きものを参考に、ビオトープに呼びたい生きものを決めて、ワークシート①に記入する。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを経験して、私たちができることを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～③ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> デジタルカメラ
------------------	---

場所・時間帯・自然条件

- 身近な地域の公園、森林など。
- 一年中。ただし種類によって適した時期がある。

安全のために・環境配慮

- 安全のために（P14）の、事前の準備、環境ごとの安全管理を必ず確認すること。
- 環境配慮事項（P15）の、ごみについて、環境ごとの環境配慮を必ず確認すること。
- 実際のビオトープ作りにおいては、専門家との協働が望ましい。

自
然

ワークシート① （コピーして使って下さ

地域の自然から誰を招待する？

地域の自然を観察して、どのような生きものをビオトープに招待して、地域の生態系を復元するかを考えて、設計してみよう。



●地域の自然を観察して見つけた生きものを書き出し、そのうちの外来種に✓印をつけておこう。

場所：
植物：
動物：

場所：
植物：
動物：

自然

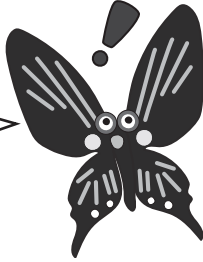
●ビオトープの設計図：植物や水辺、招待する生きものたちとそのつながりを描いてみよう！

ワークシート② （コピーして使って下さい）

振り返り

身近な自然を知ること、どのような「ビオトープ」が必要なのか、地域の自然がつながって広がっていくためにどのようなことができるのか、考えましょう。

近くの森と庭や公園が生きものでつながったよ！



振り返り

ビオトープを作ると、生きものと私たちにとってどんな良いことがありますか？


私たちの地域の自然をもっと広げていくために、どんなことができますか？

やってみよう

- 実際にビオトープを作ってみましょう。
- ビオトープを季節ごとに調査して、沖縄の季節と生きものについて学習しましょう。
- 取り入れた植物以外に、鳥などが運んできた植物を調べ、記録してみましょう。

もっと知りたい

調べる



おきなわ自然さんぽ（本）
 鹿谷麻夕・鹿谷法一・藤井晴彦・佐藤寛之 著
 沖縄の自然の生きものの面白いお話が、わかりやすく書いてある本。

自然







ワークシート③ （コピーして使って下さい）

地域の自然にどんな生きものがあるのかを観察してみま
しょう。

観察した生きものにを入れましょう。



地域の生きものリスト（市街地）

<input type="checkbox"/> ガジュマル 	<input type="checkbox"/> アカギ 	<input type="checkbox"/> ホルトノキ 
<input type="checkbox"/> オオムラサキシキブ 	<input type="checkbox"/> ギョボク 	<input type="checkbox"/> ハマイヌビワ 
<input type="checkbox"/> オオシオカラトンボ 	<input type="checkbox"/> ウスバキトンボ 	<input type="checkbox"/> オキナワチョウトンボ 
<input type="checkbox"/> メジロ 	<input type="checkbox"/> スズメ 	<input type="checkbox"/> イソヒヨドリ 
<input type="checkbox"/> キジバト 	<input type="checkbox"/> アオカナヘビ 	<input type="checkbox"/> チブサトグモ 

自然

講師用資料①

ワークシート①回答例

<ポイント>

- ・最初に、地域の本来の自然に近い場所を観察して、どんな生きものがいるのか確認する。
- ・調べた生きものをもとに、どの種類を、どのように配置するか、生きもの同士のつながりを考える。
- ・外来生物の観点から、避けるべき生きものがあるか問題提起をする。

地域の自然から誰を招待する？

記入例)

- 地域の自然を観察して見つけた生きものを書き出し、そのうちの外来種に✓印をつけておこう。

場所：〇〇公園と御嶽

植物：ガジュマル アカギ ハゼノキ
 タブノキ ゲッキツ ホルトノキ
 ヒカンザクラ モモタマナ ギョボク
 ミフクラギ センダン ランタナ✓
 ハイビスカス✓ シロノセンダン
 グサ✓ アメリカハマグルマ✓

動物：キジバト メジロ イソヒヨドリ
 スズメ ハシブトガラス
 オリイオオコウモリ クマゼミ
 ツマベニチョウ ウスバキトンボ

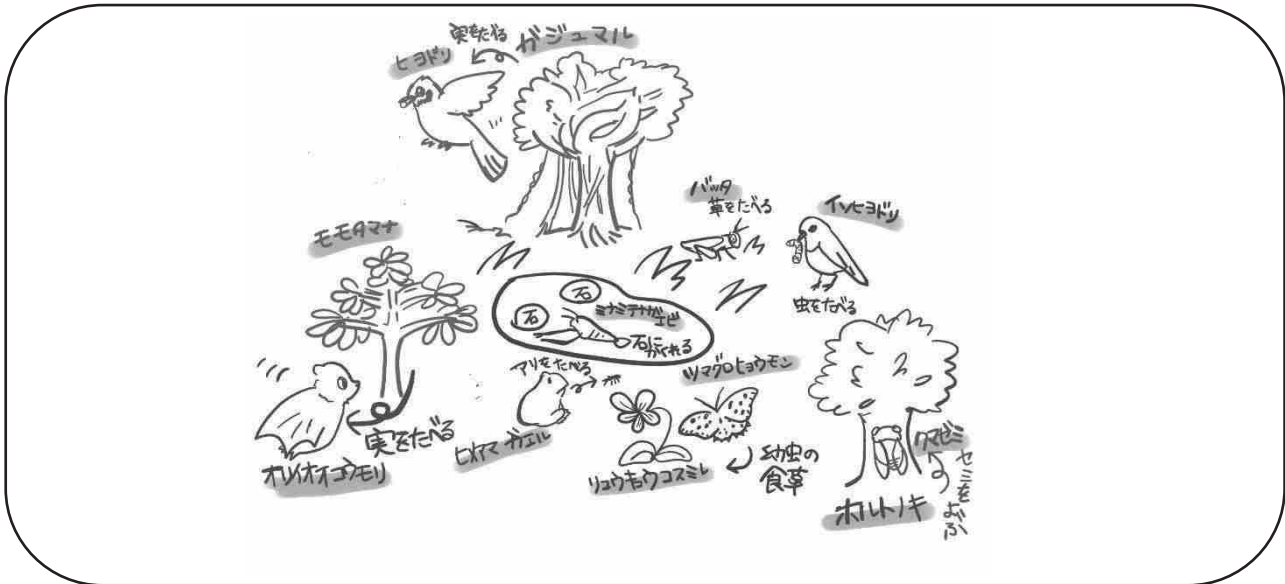
場所：〇〇川と〇〇池

植物：カヤツリグサ ホテアオイ✓
 チドメグサ

動物：オオシオカラトンボ
 オキナワチョウトンボ
 ヒメアマガエル
 リュウキュウカジガエル
 シロアゴガエル✓ ミナミテナガエビ
 スマエビ グッピー✓

自然

- ビオトープの設計図：植物や水辺、招待する生きものたちとそのつながりを描いてみよう！



講師用資料②

ワークシート②回答例

<ポイント>

- ・ビオトープを作ることによって、生きものと私たちにとってどのような意義があるのか考えてもらう。
- ・在来の自然を守り、緑の環境を未来へつなげるために、私たちにできることを考えてもらう。

振り返り

ビオトープを作ると、生きものと私たちにとってどんな良いことがありますか？

- 地域の自然を取り入れることによって、生きものにとっては餌場や繁殖できる場所になる。
- 地域の自然に近い環境であることで、季節を感じたり、生きものの生態を観察することができ、心が安らぐ場所ができる。

私たちの地域の自然をもっと広げていくために、どんなことができますか？

- 地域の公園づくりや植樹に参加し、在来種を植えることを提案する。
- 鳥や虫がどんな植物を利用しているのかを知れば、それらを守ったり増やすことで、地域の自然を豊かにできる。
- 外来種や有毒な植物を増やさないようにすることで、生きものにも人にもやさしい自然にしていける。